

板橋区の国際交流関係

1. イタリア・ボローニャ市との交流について

- 「絵本のまち板橋」事業が始まるきっかけとなったのは、昭和56年に板橋区立美術館で開催された「第1回イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」。
平成元年に区立美術館がこの原画展の日本巡回展の幹事館となったのを機に、板橋区とボローニャ市の間で相互訪問が始まり、交流が深まる。
- 平成5年からは「ボローニャ児童図書展」事務局から板橋区に絵本が寄贈されるようになり、「ボローニャ・ブックフェアinいたばし」が開始。
- 平成6年からは英語の絵本翻訳コンテストである「いたばし国際絵本翻訳大賞」が開始。
- 平成16年に、「ボローニャ児童図書展」事務局から寄贈された世界各国の絵本が約80か国・2万冊以上となり、「いたばしボローニャ子ども絵本館」(現在の中央図書館に併設されている「いたばしボローニャ絵本館」の前身)を開館。
- 平成17年に、ボローニャ市との交流25周年を記念し、友好都市交流協定を締結。
- 令和4年に、国際図書館連盟(IFLA)の姉妹図書館プロジェクトを介して、板橋区立中央図書館とイタリア・ボローニャ市のサラボルサ児童図書館が姉妹図書館提携を締結。



2. 板橋区の国際交流関係について

交流都市	主な内容
バーリントン市 (カナダ、オンタリオ州)	1989年、姉妹都市提携を締結。 青少年訪問団や区民ツアーの訪問、文化団体による文化交流など、市(区)民レベルでの様々な交流が続いている。
マレーシア・ペナン州	1994年、板橋区立熱帯環境植物館とペナン植物園との間の「友好提携に関する共同声明」に調印。 以来、植物の交換事業などを行っている。
モンゴル国文部省 (現:教育科学省、文化省)	1996年、モンゴル国文部省(現教育科学省、文化省)と「文化・教育交流協定」を締結。 1992年、モンゴル国で紙不足が深刻であるという新聞報道をうけ、区内印刷工場の余紙で作った再生ノートや鉛筆などを贈ったことで交流が始まった。
北京市石景山区(中国)	日中国交正常化25周年にあたる1997年、北京市と姉妹都市である東京都の先導のもと、北京市石景山区と友好協定を締結。 以来、石景山区訪問区民ツアーや両区区民による書道・絵画・写真展の開催など、区民レベルでの交流が行われている。
ボローニャ市(イタリア、エミリア・ロマ-ニャ州)	2005年に友好都市提携を締結。 (詳細は前頁参照)

参考: <https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bunka/kouryu/gaikoku/1005144.html>



3. 関連する取組(一例)

- 中央図書館講演会シリーズ「世界の書棚から」

在日大使館の職員や、各言語の翻訳家を講師にお招きし、各国の注目の絵本作家や作品、最新出版事情などをお話いただく講演会シリーズを開催。



- 板橋区立中央図書館×ボローニャ市立サラボルサ児童図書館連携事業「ぬいぐるみおとまり会」

アメリカの公共図書館ではじまり、多くの図書館で類似事業が行われてきた取組。お気に入りのぬいぐるみが図書館を探検したり、絵本を選び読んでいる様子を見ることで、図書館・絵本への愛着が生まれ、子どもの読書推進につながるといわれている。

